



# PicoManager® 通信方式見直しと留意点

2023/8/15  
PicoCELA株式会社

# 通信方式「MQTT」

## ① 双方向通信の実現

PCWLから動的なプッシュ型通信により、よりきめ細かい監視の実現  
→ プロアクティブな監視と高付加価値サービスの提供実現  
非同期処理化で、一括FW更新時間の短縮化とエラー抑制

## ② 拡張性の向上

→ グローバルAWSネットワークによる、スケーラビリティの向上

## ③ サーバーレス化

→ AWSによる安定稼働の実現、データ冗長化実現

# MQTT導入時「ご注意が必要なユーザー」

PCWL-0400シリーズ

MQTT初期値:無効

対象ユーザーはおりません

(MQTTを利用したい場合のみPCWL-0500と同じユーザー)

PCWL-0500シリーズ

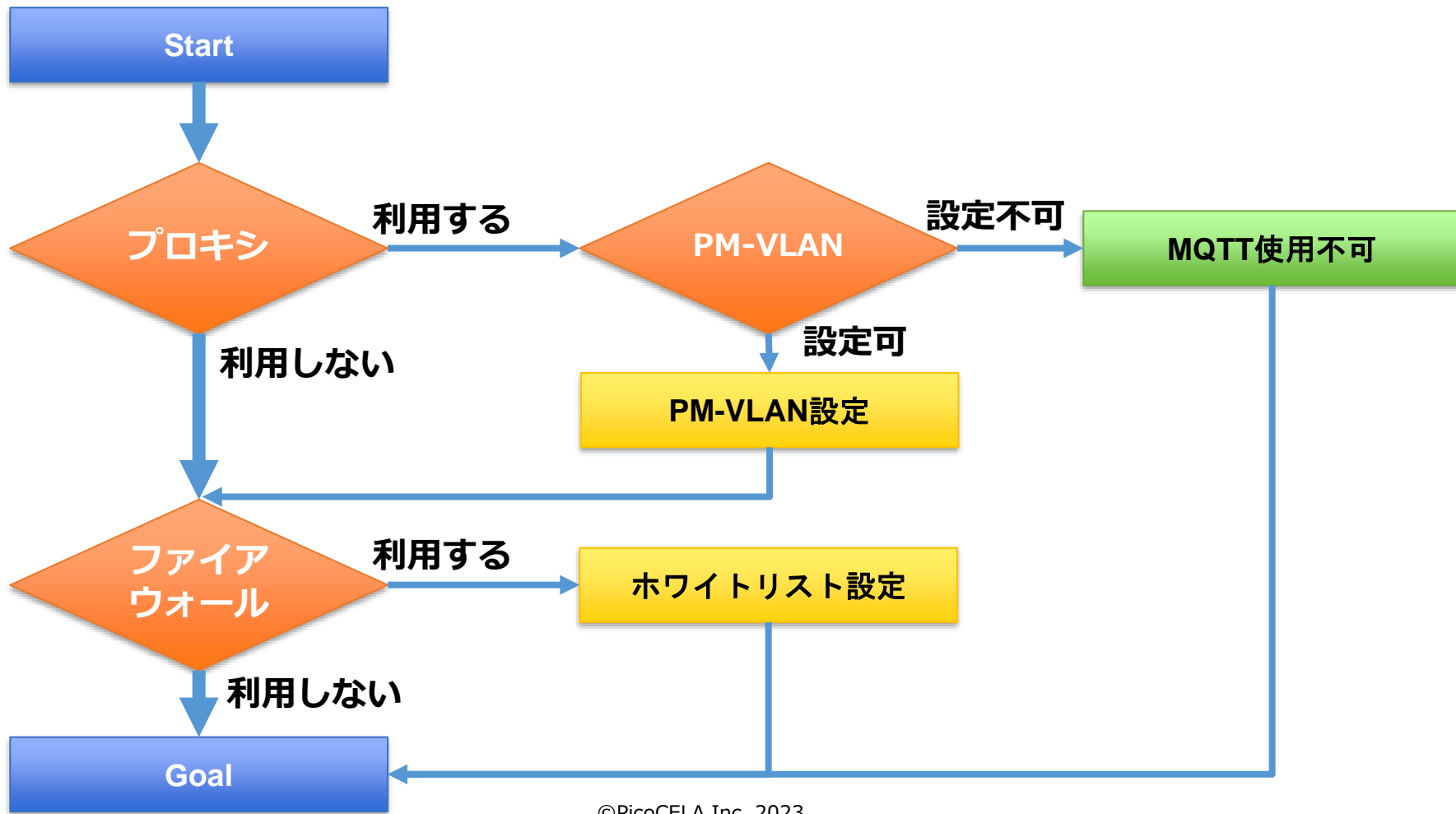
MQTT初期値:有効

1. プロキシを利用しているユーザー
2. ファイアウォールを利用しているユーザー

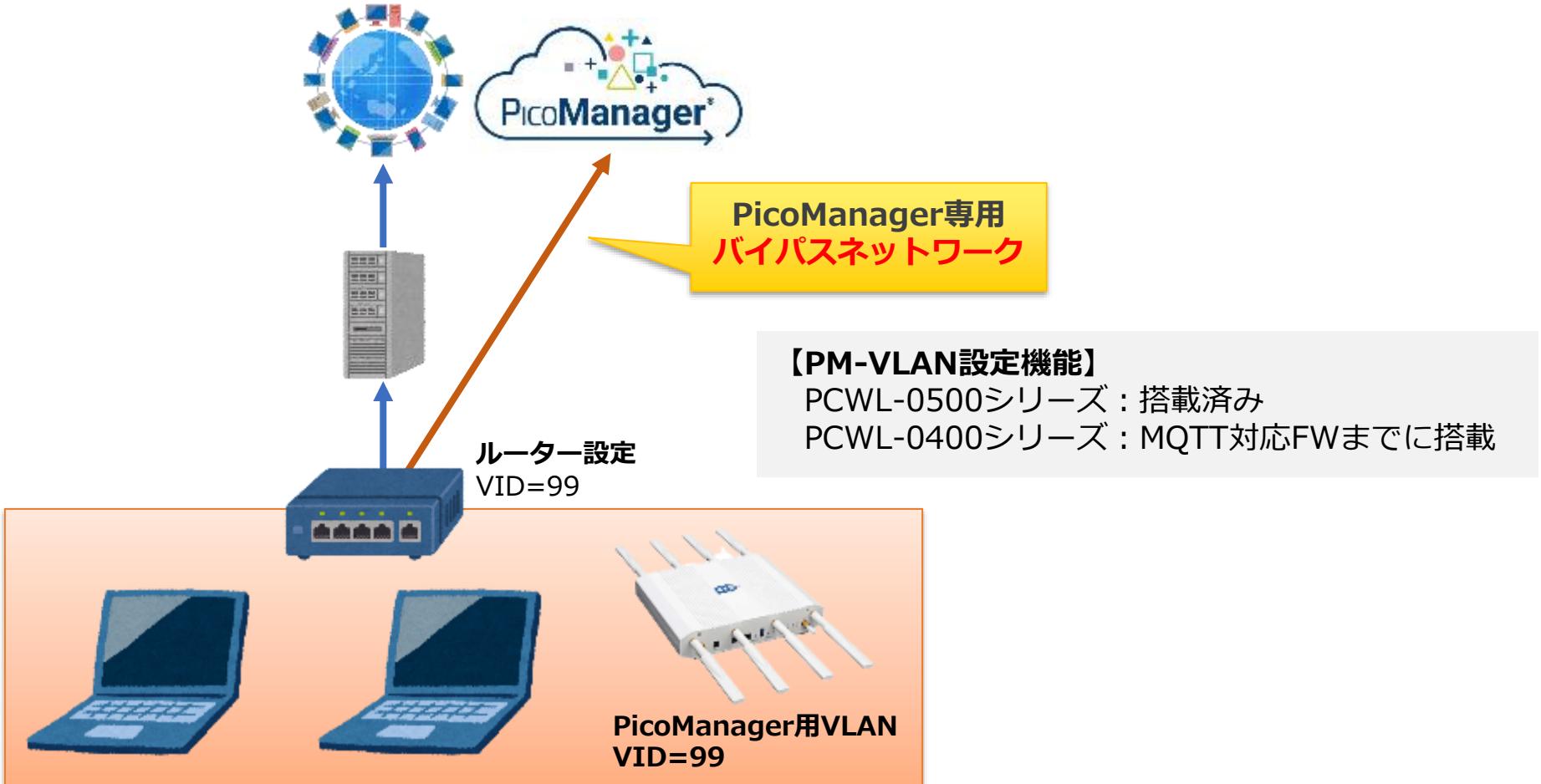
## PCWL-0500シリーズ

1. プロキシを利用しているユーザー
2. ファイアウォールを利用しているユーザー

# 「注意点の対応」



# PM-VLANとは



# PM-VLANの設定方法

PCWL-0400シリーズ

メニュー「PicoManager関連設定」

PM-VPN用VLAN	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
VLAN ID	0
IPアドレス	e.g. 192.168.1.1
ネットマスク	e.g. 255.255.255.0
ゲートウェイ	e.g. 192.168.1.1

有効に**チェック**

PicoManager接続用の**VLAN ID**を設定

PCWL-0500シリーズ

メニュー「設定」－「VLAN」、タブ「その他」

VLAN	
VLANテーブル	その他
Eth-down VLANモード	トランク
マネジメントVLAN ID	タグなし
PicoManager接続用VLAN ID	タグなし

PicoManager接続用の**VLAN ID**を設定

# ホワイトリストの設定方法

ホワイトリストに下記の「4つのドメイン」を追加下さい。

## 許可アドレス一覧

※既に追加済みのIPアドレスは引き続き必要です。

18.179.114.112 : 既存

18.179.87.254 : 既存

52.196.217.100 : 既存

54.168.65.72 : 既存

46.51.244.240 : 既存

edge.picomanager.net -> 追加

gencert.picomanager.net -> 追加

gens3url.picomanager.net -> 追加

fwpackages-prd.s3.ap-northeast-1.amazonaws.com -> 追加

## 許可ポート

80

443



PCWL-0400シリーズ

MQTTを利用したいユーザー

# MQTT監視を有効化

①WebUI2より、「PicoManager関連設定」->「アクティベーション」->「MQTTの利用」チェックボックスを有効化し、アクティベートボタンを押してください。

**「VPNプロキシ」を有効化している場合はMQTT機能をご利用いただけません**

②PicoManagerの「監視」->「AP監視」->「監視設定」->「各ノード設定」->「監視モード設定タブ」より、当該ノードの監視モードを「アクティブモード（推奨）」に変更してください。



**PicoManager関連設定**

アクティベーション

- アクティベート
- MQTTの利用**  
この設定の変更を適用したら、アクティベートを実施してください  有効
- VPNプロキシ  有効
- VPNプロキシ ホスト example-
- VPNプロキシ ポート 3128
- PM-VPN用VLAN  有効

**有効にチェック**

**PicoManager関連設定**

PicoManagerのサービスと連携するための機能設定ができます。PicoManagerの利用には販売店経由でPicoCELA社へ利用申込（利用ライセンス発行）が必要です。申込方法は機器を購入した販売店へお問合せください。

**アクティベーション**

PicoManagerと接続し、クラウドサービスを利用するには、最初にPicoManagerのアクティベーションが必要です。ご利用する全ての機器（親機、子機）でアクティベーション操作を実施してください。

- アクティベート
- MQTTの利用**  
有効にすることでPicoManagerとの双方向通信などが可能になります。但し、プロキシやファイアウォールで宛先制御をしている場合には、PM-VLANを利用する必要があります。
- VPNプロキシ
- VPNプロキシ ホスト
- VPNプロキシ ポート
- PM-VPN用VLAN

# WebUI2設定項目

ホーム > 監視 > AP監視 > 監視設定

## 監視設定

各ノード設定

テンプレート

監視ステータス 監視モード設定



10件 / ページ

<< < 1 > >>

1 /1 ページ (1-2件/2件)

選択中の監視モードでは、\*のついたテンプレートが動作します。

監視モード	ノード名	MACアドレス	適用テンプレート	
			死活監視	Keep Alive
アクティブモード(推奨)	00:85@node_20230809090234	04:2B:BB:01:00:85	PING監視(日本語)	* Keep Alive@PCWL-0500
パッシブモード(非推奨)	53:F0@node_20230815020655	04:2B:BB:00:53:F0	* PING監視(日本語)	Keep Alive@PCWL-0400

パッシブモード  
(=PING監視有効)

保存

PING監視テンプレートが  
適用済み

# 監視テンプレート確認 (変更後)

ホーム > 監視 > AP監視 > 監視設定

## 監視設定

各ノード設定

テンプレート

監視ステータス **監視モード設定**



10件 / ページ

<< < 1 > >>

1 /1 ページ (1-2件/2件)

選択中の監視モードでは、\*のついたテンプレートが動作します。

監視モード	ノード名	MACアドレス	運用テンプレート	
			死活監視	Keep Alive
アクティブモード(推奨)	00:85@node_20230809090234	04:2B:BB:01:00:85	PING監視(日本語)	* Keep Alive@PCWL-0500
アクティブモード(推奨)	53:F0@node_20230815020655	04:2B:BB:00:53:F0	PING監視(日本語)@	* Keep Alive@PCWL-0400

アクティブモードに変更  
(=MQTT監視有効)

保存

MQTT監視テンプレートが  
適用されます

# スケジュール

## PCWL-0400シリーズ

**8月下旬**出荷分より、MQTT対応FW出荷開始

(MQTT対応FWは、[v2.12.1](#)以降)

## PCWL-0500シリーズ

**9月中旬**出荷分より、MQTT対応FW出荷開始

(MQTT対応FWは、[v1.1.3](#)以降)

## PicoManager

**8月21日**対応予定